

第160回役員会・第71回経営審議会 議事要録

日 時：2025年3月21日（金）14：00～15：40

会 場：北九州市立大学 北方キャンパス 本館 E-701会議室（オンライン併用）

出席者：津田理事長、柳井副理事長、白川理事、古川理事、漆原理事、上江洲理事、中本理事、
井上委員、瓜生委員、甲木委員、久保委員、小林委員、藤田委員、松永委員

オブザーバー：中野監事、福田監事、内田副学長

欠席者：後藤副学長

議 案

- 1 経営系専門職大学院の認証評価の受審について
- 2 大学発スタートアップ(SU)の株式又は新株予約権の取得等に関する規程等の整備について
- 3 第4期中期計画に追加する評価指標案について
- 4 2025年度予算案について
- 5 2025年度研究不正防止計画について
- 6 教職員の人事・給与制度の改正等について
- 7 事務局組織の改正について

報 告

- 1 2024年度卒業予定者の内定状況について
- 2 2025年度入学者選抜試験の実施状況について

議案1 経営系専門職大学院の認証評価の受審について

- * 専門職大学院を置く大学は、5年以内ごとに認証評価機関による認証評価を受ける必要がある。本学大学院は、2025年度に公益財団法人大学基準協会で4回目の認証評価を受審することについて提案。

<質疑応答>

[理事]

企業推薦枠について説明を受けたことがあるが、会社が多額な授業料を本人に代わって負担する場合は、それに見合うスキルや知見を深めたり、ネットワークを広げたり等、社内に充分還元できるメリットがあることが重要であると考えている。優秀な人材ほど社内の大事な業務に携わっていることが多いので、それを犠牲にしてでも企業推薦したいと思える魅力あるカリキュラムを考えてほしい。

[オブザーバー]

2024年度に入試制度を見直し、企業推薦枠を設けた。企業推薦枠の学生は、企業が抱えるミッションを解決することも目的の1つにビジネススクールで学ぶ。この企業推薦枠は、1次試験を免除とする条件に変更し、2025年4月の入学者数は6名（6社）であり、今後も増やしていきたい。

また、実践的な学びが重要であると考え、企業と連携し、履修生がコンサルタント的な立場で、企業の課題を解決していく実践型教育を単位化した。机上で学んだことを、企業の組織内で活かせることができるという点をアピールしながらやっていきたい。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

議案2 大学発スタートアップ(SU)の株式又は新株予約権の取得等に関する規程等の整備について

- * 国立研究科学技術振興機構（以下、JST）による「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステムの形成事業」の採択を受けるにあたり、JST からスタートアップ・エコシステムの構築に向けた環境整備として求められている大学発 SU の株式または新株予約権の取得等に関する規程等を整備することについて提案。

[理事長]

現在、話が進んでいるベンチャー企業はいくつあるか。

[理事]

本学の教員が起業したベンチャー企業は5件程度あると認識している。また、当該事業採択後に、企業支援を受けたいと意思表示してきている企業が2件ほどある。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

議案3 第4期中期計画に追加する評価指標案について

- * 第157回役員会・第70回経営審議会にて承認を得た第4期中期計画の評価指標について、法人評価委員会の意見を踏まえ、北九州市と協議・調整した変更点について提案。

<質疑応答> なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

議案4 2025年度予算案について

- * 2025年度の当初予算案について提案。

<質疑応答>

[委員]

新学部の設置は、北九州市にとっても非常に大事であり、市の将来にも影響を及ぼすと考える。については、新校舎建設にかかる費用は、北九州市立大学というよりも北九州市に多く負担してもらえることを期待する。

[委員]

来年度以降、目的積立金がマイナスになるように見えるが、今後の資金計画についてどのように考えているのか。

[理事]

引き続き、北九州市と協議しながら、運営費交付金を得られるよう努力していく。そうすることで、少しずつでも目的積立金を増やしていきたいと考えている。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

議案5 2025年度研究不正防止計画について

* 2024年度の研究不正防止計画の実施状況と評価を踏まえて策定した2025年度研究不正防止計画について提案。

<質疑応答>

[監事]

2024年度の監査結果を踏まえて、重点化する事項と強化していく事項を選定してメリハリのある不正防止計画を作成していると感じている。今後も、監事として事務局と連携して不正防止に取り組んでいきたい。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

議案6 教職員の人事・給与制度の改正等について

* 本学教職員の就業規則及び給与制度等の改正について提案。

<質疑応答> なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

議案7 事務局組織の改正について

* 学生の利便性や本学の地域貢献の更なる充実を図ることを目的に、事務局組織を改正することについて提案。

<質疑応答> なし

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし。

報告1 2024年度卒業予定者の内定状況について

* 2025年2月に実施した卒業予定者の内定状況について報告。

<質疑応答>

[委員]

北九州市内就職率はどのくらいか。

[理事]

現時点では、勤務地の把握ができていないため市内就職率を算出することはできない。現時点では、昨年より市内就職率は下がると思われる。正式には、5月中旬頃に卒業生に対して勤務地調査を行い、6月に開催する役員会・経営審議会において市内就職率を報告する。

報告2 2025年度入学者選抜試験の実施状況について

* 2025年度入学者選抜試験の実施結果について報告。

<質疑応答>

[理事]

関東、関西にある私立大学は、年内入試にシフトしてきている。総合型選抜で入学する理系の学生は、興味がある研究(目標)をするために入学してくるため、大学院進学率も高いというデータが出ている。そのため、理系においては優秀な学生を早く獲得したいという理由で、理系を中心に入試を前倒ししている大学が多い。文系においては、年内に大学を決めたいという学生が多くなっており、年明けに実施される一般選抜入試の志願者が減少している。

また、小論文や面接試験等と学力試験を組み合わせ、入学試験の時期を早めるという動きもでてきている。北九州市立大学においても、他大学の動向を注視していただきたい。